

2022年度(令和4年度)IT総合学科シラバス一覧表

科目No	科目名	科目区分	授業形態	対象学年	前期・後期	毎週・集中	週の講義数/ 集中講義数	履修時間	単位
IT001	Office演習 I	専門基礎	実習	1	前期	毎週	3	51	1
IT002	ビジネスマナー I	一般教養	講義	1	前期	毎週	2	34	2
IT003	Illustrator	専門	実習	1	前期	毎週	4	68	2
IT004	HTMLコーディング I	専門	実習	1	前期	毎週	4	68	2
IT005	JavaScript I	専門	実習	1	前期	毎週	3	51	1
IT006	Unity C# I	専門	実習	1	前期	毎週	2	34	1
IT007	ITパスポート I	専門	演習	1	前期	毎週	3	51	1
IT008	基本情報処理技術者 I	専門	演習	1	通年	毎週	4	136	4
IT009	Linux I	専門	実習	1	前期	毎週	2	34	1
IT010	Office演習 II	専門基礎	実習	1	後期	毎週	3	51	1
IT011	ビジネスマナー II	一般教養	講義	1	後期	毎週	2	34	2
IT012	Photoshop	専門	実習	1	後期	毎週	4	68	2
IT013	HTMLコーディング II	専門	実習	1	後期	毎週	4	68	2
IT014	JavaScript II	専門	実習	1	後期	毎週	3	51	1
IT015	Unity C# II	専門	実習	1	後期	毎週	2	34	1
IT016	ITパスポート II	専門	演習	1	後期	毎週	3	51	1
IT017	Linux II	専門	実習	1	後期	毎週	2	34	1
IT018	キャリアデザイン I	一般教養	講義	2	前期	毎週	3	51	3
IT019	ポートフォリオ I	専門	実習	2	前期	毎週	4	68	2
IT020	Web制作応用	専門	実習	2	前期	毎週	3	51	1
IT021	ネットマーケティング	専門	講義	2	前期	毎週	2	34	2
IT022	AI開発 I	専門	実習	2	前期	毎週	3	51	1
IT023	Webアプリ開発 I	専門	実習	2	前期	毎週	3	51	1
IT024	基本情報処理技術者 II	専門	演習	2	前期	毎週	4	68	2
IT025	Java I	専門	実習	2	前期	毎週	3	51	1
IT026	プレゼンテーション演習	専門基礎	実習	2	後期	毎週	3	51	1
IT027	キャリアデザイン II	一般教養	講義	2	後期	毎週	3	51	3
IT028	ポートフォリオ II	専門	実習	2	後期	毎週	4	68	2
IT029	知的財産管理	一般教養	講義	2	後期	毎週	2	34	2
IT030	AI開発 II	専門	実習	2	後期	毎週	3	51	1
IT031	Webアプリ開発 II	専門	実習	2	後期	毎週	3	51	1
IT032	AIとBI	専門	講義	2	後期	毎週	2	34	2
IT033	IOT	専門	講義	2	後期	毎週	2	34	2
IT034	Java II	専門	実習	2	後期	毎週	3	51	1

【科目コード：IT001】

科目	Office 演習 I	科目区分	専門基礎
履修時間	51時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	1年
担当講師	高橋 由美子	単位数	1単位

【授業のねらい】

Word の基本操作を理解し、スピード入力ができるタッチタイピングや編集機能の習得、ビジネスシーンに必要な書類や応募書類の作成を実践的に活用できることを目標とする。また、授業内容と関連する資格として「日本語ワープロ検定試験2級」の取得を目指す。

【授業の展開計画】

- 第1回 Word の概要と基礎知識
- 第2回 文字の入力方法
- 第3回 タッチタイピング練習
- 第4回 10分間のタイピング練習
- 第5回 タイピング練習チェック表に文字数記録の記入
- 第6回 文書の作成
- 第7回 表の作成
- 第8回 文書の編集
- 第9回 表現力をアップする機能
- 第10回 便利な機能
- 第11回 ドリルでの復習
- 第12～13回 試験対策と模擬問題の実施
- 第14～15回 2級模擬問題練習チェック表に記録の記入
- 第16回 試験
- 第17回 学期末試験

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

提出物①：2級模擬問題練習チェック表

【テキスト】

日本語ワープロ検定試験 2級 模擬問題集
Word2019ドリル

【参考文献・その他】

無し

【科目コード：IT002】

科目	ビジネスマナー I	科目区分	一般教養
履修時間	34時間	授業形態	講義
開講学期	前期	対象学年	1年
担当講師	高橋 由美子	単位数	2単位

【授業のねらい】

社会人としての最低限必要なマナーと心構えを身に付け、基本的な判断や行動ができるようになる。また、職場におけるふさわしい身だしなみ、敬語の使い方や電話対応の基本を通して人と接する際のコミュニケーションスキルを学び、活かせるよう実践練習する。

【授業の展開計画】

- 第1～第2回 アイスブレイクでの自己紹介及び他己紹介
- 第3回 就職に対する心構え
- 第4回 就職に対する希望条件チェックシート
- 第5回 「どんな社会人になりたいか」の作文
- 第6回 働くことの意義と自己分析ワーク
- 第7回 自分史を Word で作成編集
- 第8回 自分に課したミッションを考え記入
- 第9回 キャリア面談（1年次に年3回実施）1回目（5月）
- 第10回 ビジネスの基本マナー I ビジネスマナーとは
- 第11回 服装と身だしなみ・立ち居振る舞い・あいさつと返事
- 第12回 コミュニケーションの基本マナー I コミュニケーションとは
- 第13回 ビジネス会話・敬語・接遇用語・クッション言葉
- 第14回 電話の基本マナー・電話対応のポイント・電話の掛け方
- 第15回 電話の受け方・携帯電話のマナー
- 第16回 キャリアガイダンス
- 第17回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

提出物①：就職に対する希望条件チェックシート

提出物②：「どんな社会人になりたいか」の作文

【テキスト】

オリジナルテキスト

【参考文献・その他】

ワークガイダンス講習（第一・二分冊）

自信がつくビジネスマナー

【科目コード：IT003】

科目	Illustrator	科目区分	専門
履修時間	68時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	1年
担当講師	末續河南衣	単位数	2単位

【授業のねらい】

- ① Illustrator 基本操作ができる。
- ② デザインのセオリー、基本原則を知ることができる。
- ③ 色、配色について知ることができる。レイアウトデザインについて知ることができる。
- ④ 色々な書き出しデータの特徴を知ることができる。
- ⑤ 印刷物の入稿データの仕方、その他のデータについて知ることができる。
- ⑥ 意欲的に課題制作に取り組むことができる。自分なりのオリジナル制作、重要性、大切さを知ることができる。
- ⑦ 作品の目的や意図を明確に持っていることをアピールできる。

【授業の展開計画】

第1回

- ① デザインについて
- ② 著名なデザイナー・様々なデザイン紹介
- ③ Adobe ダウンロード 初期設定

第2回

- ① Illustrator 基本操作
- ② ロゴ製作

第3回

- ① 素材ダウンロード
- ② Illustrator 基本操作
- ③ ロゴ製作
- ④ 名刺製作（ロゴを当て込む）

第4回～第7回

- ① Illustrator 基本操作
- ② 5月の課題ロゴ製作
- ③ 5月の課題名刺製作（ロゴを当て込む）

第8回～第11回

- ① Illustrator 応用操作
- ② 6月の課題タイポグラフィを意識したバナー制作

第12回～第14回

- ① コンテンツ製作
- ② 7月の課題残暑見舞い（はがきデザイン）

第15回～第16回

- ① コンテンツ製作
- ② 視覚化のデザイン
- ③ 9月の課題 SNS 広告制作

第17回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Illustrator®クイックマスターCC Windows&Mac

【参考文献・その他】

【科目コード：IT004】

科目	HTML コーディング I	科目区分	専門
履修時間	68時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	1年
担当講師	栗国 朝也	単位数	2単位

【授業のねらい】

ホームページ作成で必要となる、HTML・CSSのファイル制作の基礎を学びコーディング技術の基礎を、みにつける。

【授業の展開計画】

第1回～第3回

HTML5の基礎知識・CSS3の基礎知識

第4回～第5回

Webサイトの構築

第6回～第8回

トップページの作成

第9回～第10回

サブページ作成・リンクの設定・Webページの動作検証

第11回～第12回

表を挿入したWebページの作成/サイドメニューのあるWebページの作成

第13回

動画やマップを挿入したWebページの作成

第14回

フォームを利用したWebページの作成

第15回～第16回

過去問題

第17回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

よくわかるHTML5&CSS3ウェブサイト構築の基本と実践

【参考文献・その他】

【科目コード：IT005】

科目	JavaScript I	科目区分	専門
履修時間	51 時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	1 年
担当講師	長田 一	単位数	1 単位

【授業のねらい】

プログラミングの基本を知り自ら考えてコードを書けるようになる事を目指します。

【授業の展開計画】

第 1 回

プログラムを作成する準備をしよう・プログラムを作りながら基礎を学ぼう

第 2 回～第 6 回

条件分岐について学ぼう・関数の基本を学ぼう・繰り返し処理について学ぼう

第 7 回～第 8 回:

HTML/CSS を操作する方法を学ぼう・ユーザーの操作に対応させよう

第 9 回～第 10 回

データをまとめて扱おう

第 11 回～第 12 回

フォトギャラリーを作成しよう

第 13 回～第 14 回

便利な jQuery を使用してみよう・Web API の基本を学ぼう・YouTube の動画ギャラリーを作ろう

第 15 回～第 16 回

独学する技術を身につけよう

第 17 回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

書籍「いちばんやさしい JavaScript の教本 第 2 版 ECMAScript 2017（ES8）対応人気講師が教える Web プログラミング入門」

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-08-EK-0701295>

【参考文献・その他】

【科目コード：IT006】

科目	Unity C# I	科目区分	専門
履修時間	34時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	1年
担当講師	新垣大志	単位数	1単位
実務経験	フロントエンドエンジニア		

【授業のねらい】

Unity を使用したアプリ作成を行うために必要なオブジェクト指向プログラミング C# を理解し、Unity のツールや C# プログラミングでのオブジェクト操作を学ぶ。

【授業の展開計画】

第1回～第8回

C# プログラミング基礎

第9回

Unity のインストール、ツールの基礎

第10回

C# でのオブジェクト操作

第11回～第13回

テキストを使ったゲームの作成

第14回～第17回

ゲームの自主作成、提出

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

作って学べる Unity 本格入門 [Unity 2021対応版] (作って学べる開発入門)

【参考文献・その他】

【科目コード：IT007】

科目	IT パスポート I	科目区分	専門
履修時間	51時間	授業形態	演習
開講学期	前期	対象学年	1年
担当講師	新垣大志	単位数	1単位
実務経験	フロントエンドエンジニア		

【授業のねらい】

IT パスポートの資格取得のため、IT の基礎知識（ハード、ソフト、ネットワーク、セキュリティ分野）について理解を深める。

【授業の展開計画】

- 第1回～第2回 基礎論理
- 第3回～第5回 アルゴリズムとプログラミング
- 第6回～第8回 システム
- 第9回 ハードウェア
- 第10回 ソフトウェア
- 第11回～第13回 データベース
- 第14回～第15回 ネットワーク
- 第16回～第17回 セキュリティ

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

みんなが欲しかった! IT パスポートの教科書&問題集 2022年度

【参考文献・その他】

【科目コード：IT008】

科目	基本情報処理技術者 I	科目区分	専門
履修時間	136時間	授業形態	演習
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	翁長 武浩	単位数	4単位
実務経験	ソフトウェア エンジニア		

【授業のねらい】

国家資格の IT 技術者の基本知識を学ぶ
試験対策の基礎知識の INPUT 学習を重点的に学ぶ

【授業の展開計画】

- 第1回 コンピュータ構成要素
- 第2回 システム構成要素・ソフトウェア
- 第3回 基数記数法・数学的手法・その他理論
- 第4回 マルチメディア・データベース
- 第5回 ネットワーク
- 第6回 情報セキュリティ
- 第7回 アルゴリズム・オブジェクト指向・プログラミング
- 第8回 システム開発
- 第9回 企業・経営ツール
- 第10回 財務と会計・法務・ソリューションビジネス
- 第11回 プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント・ファシリティマネジメント
- 第12回 学期末テスト（前期）
- 第13回 コンピュータ構成要素
- 第14回 コンピュータ構成要素
- 第15回 ソフトウェアとマルチメディア
- 第16回 ソフトウェアとマルチメディア
- 第17回 基礎理論
- 第18回 基礎理論
- 第19回 アルゴリズムとプログラミング
- 第20回 アルゴリズムとプログラミング
- 第21回 システム構成要素
- 第22回 システム構成要素
- 第23回 ネットワーク技術
- 第24回 ネットワーク技術
- 第25回 情報セキュリティ
- 第26回 情報セキュリティ
- 第27回 システム開発技術
- 第28回 システム開発技術
- 第29回 マネジメント系
- 第30回 マネジメント系
- 第31回 ストラテジ系
- 第32回 ストラテジ系
- 第33回 模擬テスト
- 第34回 学期末テスト（後期）

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

令和04年 イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生の基本情報技術者教室

【参考文献・その他】

【科目コード：IT009】

科目	Linux I	科目区分	専門基礎
履修時間	34時間	授業形態	演習
開講学期	前期	対象学年	1年
担当講師	臼坂忠雄	単位数	2単位
実務経験	IT 企業勤務経験		

【授業のねらい】

企業で、Web サーバーなどの OS として広く利用されている、Linux OS を学ぶ

【授業の展開計画】

- 第1回 Linux とは
- 第2回 仮想マシンインストール
- 第3回 CentOS7 インストール
- 第4回 ログイン、端末コマンド
- 第5回 ディレクトリ、ファイル、所有者
- 第6回 nano エディター
- 第7回 各種コマンド操作
- 第8回 ユーザ管理、パッケージ管理(yum)
- 第9回 Web サーバー立ち上げ (Apache)
- 第10回 FTP サーバー
- 第11回 SSH
- 第12回 シェルスクリプト
- 第13回 プロセスとシステム管理
- 第14回 セキュリティー
- 第15回 演習
- 第16回 演習
- 第17回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40点満点) と試験点数 (60点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】 新しい Linux の教科書

【参考文献・その他】 特になし

【科目コード：IT010】

科目	Office 演習Ⅱ	科目区分	専門基礎
履修時間	51時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	1年
担当講師	高橋 由美子	単位数	1単位

【授業のねらい】

Excel の基本的な使い方を覚え、入力方法や表・グラフの作成及び関数の使い方を学ぶ。効率的な操作方法を身に付け、資料作成などの業務に活かせる機能の習得を目標とする。また、授業内容と関連する資格として「情報処理技能検定試験 表計算 1級」の取得を目指す。

【授業の展開計画】

第1回	Excel の概要と基礎知識
第2回	オートフィル
第3回	データの入力と編集
第4回	数式の入力
第5回	移動とコピー
第6回	表の作成と編集
第7回	数式と関数
第8回	グラフの作成と編集
第9回	ワークシートの操作
第10回	印刷設定
第11回～第14回	覚える関数（1級対策）
第15回	試験対策と模擬問題の実施 1級模擬問題練習チェック表の作成と記録の入力
第16回	試験
第17回	学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

提出物①：1級模擬問題練習チェック表

【テキスト】

報処理技能検定試験 表計算 1級 模擬問題集

【参考文献・その他】

無し

【科目コード：IT011】

科目	ビジネスマナーⅡ	科目区分	一般教養
履修時間	34時間	授業形態	講義
開講学期	後期	対象学年	1年
担当講師	高橋 由美子	単位数	2単位

【授業のねらい】

ビジネスの基本「報・連・相」から来客応対や他社訪問、名刺交換の実践的マナーを学び、ビジネスパーソンとしてのスキルやメンタルケアを習得する。また、「ソーシャルマナー3級」取得により信頼されるスキルの習得と自分の価値を相手に伝えることを目指す。

【授業の展開計画】

- 第1回 キャリア面談（1年次に年3回実施）2回目（10月）
- 第2回 ソーシャルマナー3級認定講座
- 第3回 ビジネスの基本マナーⅡ ビジネスマナーの役割
- 第4回 就職活動に必要なビジネスマナー
- 第5回 就業中のルール
- 第6回 コミュニケーションの基本マナーⅡ 基本的な指示の受け方
- 第7回 気を付けたい言葉遣いと口癖
- 第8回 報連相とは 報告・連絡・相談の方法
- 第9回 訪問時・来客時の基本マナー
- 第10回 初めて会う人へのマナー
- 第11回 来客応対の基本 他者訪問の基本・応接室でのマナー
- 第12回 セルフケア 社会人に求められるセルフケア
- 第13回 ストレスとは
- 第14回 アンガーマネジメントとは・アンガーマネジメントの重要性
- 第15回 怒りを切り抜ける3つのコントロール
- 第16回 キャリア面談（1年次に年3回実施）3回目（2月）
- 第17回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

オリジナルテキスト
ソーシャルマナー3級認定講座テキスト

【参考文献・その他】

ワークガイダンス講習（第一・二分冊）
自信がつくビジネスマナー

【科目コード：IT012】

科目	Photoshop	科目区分	専門
履修時間	68時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	1年
担当講師	末續河南衣	単位数	2単位

【授業のねらい】

- ① Photoshop 基本操作ができる。
- ② デザインのセオリー、基本原則を知ることができる。
- ③ 色、配色について知ることができる。レイアウトデザインについて知ることができる。
- ④ 色々な書き出しデータの特徴を知ることができる。
- ⑤ 印刷物の入稿データの仕方、その他のデータについて知ることができる。
- ⑥ 意欲的に課題制作に取り組むことができる。自分なりのオリジナル制作、重要性、大切さを知ることができる。
- ⑦ 作品の目的や意図を明確に持っていることをアピールできる。

【授業の展開計画】

第1回

- ① Photoshop 基本操作
- ② 画面表示と色の選択、環境設定
- ③ 10月の課題 Adobe MAX

第2回～第3回

- ① 選択ツール
- ② 10月の課題 Adobe MAX

第4回

- ① その他の選択方法
- ② 11月の課題クリスマス広告

第5回

- ① 画像解像度とサイズ変更
- ② 11月の課題クリスマス広告

第6回

- ① カラーモード
- ② 11月の課題クリスマス広告

第7回

- ① ペイント系のツール
- ② 11月の課題クリスマス広告

第8回

- ① レタッチ系のツール
- ② これから始める Illustrator & Photoshop の本
- ③ 年賀状（はがきデザイン）と SNS 広告

第9回

- ① レイヤーの基本操作
- ② これから始める Illustrator & Photoshop の本
- ③ 年賀状（はがきデザイン）と SNS 広告

第10回

- ① パスの作成と編集
- ② テキストの入力と編集
- ③ これから始める Illustrator & Photoshop の本
- ④ 年賀状（はがきデザイン）と SNS 広告

第11回

- ① フィルター

- ② 色調補正ツールの基本ワザ
 - ③ これから始める Illustrator & Photoshop の本
第 1 2 回
 - ① 夕暮れに替える
 - ② これから始める Illustrator & Photoshop の本
第 1 3 回
 - ① プレートデザイン
 - ② これから始める Illustrator & Photoshop の本
第 1 4 回
 - ① フィルターで制作するブックカバー
 - ② これから始める Illustrator & Photoshop の本
第 1 5 回
 - ① イラストと背景写真の合成
 - ② これから始める Illustrator & Photoshop の本
第 1 6 回
 - ① 1年間の授業まとめと振り返り
 - ② 保存形式
 - ③ Web サイトのデザイン
- 第 1 7 回
学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Photoshop®クイックマスターCC Windows&Mac

【参考文献・その他】

【科目コード：IT013】

科目	HTML コーディングⅡ	科目区分	専門
履修時間	68時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	1年
担当講師	栗国 朝也	単位数	2単位

【授業のねらい】

HTML コーディングⅠで学習した、基礎を実践形式で応用に活かす。
サイトの基本コーディング・サーバーへのアップロードなどを行う。

【授業の展開計画】

第1回～第7回

トップページ制作・CSS ファイル制作（課題）

第8回～第12回

サブページ制作・CSS 制作（課題）

第13回～第15回

リンク設定・動作確認

第16回

サーバーアップロード

第17回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

よくわかる HTML5&CSS3ウェブサイト構築の基本と実践

【参考文献・その他】

【科目コード：IT014】

科目	JavaScript II	科目区分	専門
履修時間	51 時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	1 年
担当講師	長田 一	単位数	1 単位

【授業のねらい】

前期で習得したプログラミングスキルを活かして独自アプリケーションを制作できる基本を学びます。

【授業の展開計画】

第 1 回

制作するアプリケーションに関するブレインストーミング・チーム編成

第 2 回～第 8 回

アプリケーション制作

第 9 回～第 1 2 回

周辺知識(トラブルシューティング、ツール活用)の学習

第 1 3 回～第 1 4 回

アプリケーション制作

第 1 5 回～第 1 6 回

成果物発表

第 1 7 回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40 点満点) と試験点数 (60 点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

ネット上の情報より選抜して提供

【参考文献・その他】

【科目コード：IT015】

科目	Unity C#II	科目区分	専門
履修時間	34時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	1年
担当講師	新垣大志	単位数	1単位
実務経験	フロントエンドエンジニア		

【授業のねらい】

Unity を使い本格的な 2D、3D アプリ作成について理解を深め、講義後半では自作アプリ開発をする。

【授業の展開計画】

- 第 1 回～第 3 回 Unity ツールの応用と C# での操作。
- 第 4 回～第 10 回 テキストを使ったデモアプリの作成。
- 第 11 回～第 16 回 自作アプリの開発計画の考案と作成。
- 第 17 回 自作アプリの提出。作品発表。

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

作って学べる Unity 本格入門 [Unity 2021対応版] (作って学べる開発入門)

【参考文献・その他】

【科目コード：IT016】

科目	IT パスポートⅡ	科目区分	専門
履修時間	51時間	授業形態	演習
開講学期	後期	対象学年	1年
担当講師	新垣大志	単位数	1単位
実務経験	フロントエンドエンジニア		

【授業のねらい】

IT パスポートの資格取得のための基礎知識（ストラテジー系、マネジメント系、）について理解を深める。

【授業の展開計画】

第1回～第2回 企業活動

第3回～第5回 法務、経営戦略マネジメント

第6回～第8回 企業システム戦略、業務プロセス、ソリューション、企画と要件定義

第9回～第14回 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント

第14回～17回 開発技術、システム監査

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

みんなが欲しかった! IT パスポートの教科書&問題集 2022年度

【参考文献・その他】

【科目コード：IT017】

科目	Linux II	科目区分	専門基礎
履修時間	34時間	授業形態	演習
開講学期	前期	対象学年	1年
担当講師	臼坂忠雄	単位数	2単位
実務経験	IT 企業勤務経験		

【授業のねらい】

Linux OS の詳細を学ぶ

【授業の展開計画】

- 第1回 Linux システム、ハード、メモリ、カーネル、ユーザ空間
- 第2回 基本コマンドとディレクトリ構成
- 第3回 各種デバイスとマウント
- 第4回 ディスクとファイルシステム
- 第5回 カーネル起動の仕組み
- 第6回 ユーザ空間開始の仕組み
- 第7回 システム設定詳細
- 第8回 プロセスと資源利用の詳細
- 第9回 ネットワークとその設定
- 第10回 ネットワークのアプリケーションとサービス
- 第11回 シェルスクリプトの概要
- 第12回 ファイル転送と共有
- 第13回 ユーザ環境
- 第14回 Linux デスクトップ、開発ツール
- 第15回 仮想化技術
- 第16回 演習
- 第17回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】 Linux システムの仕組み

【参考文献・その他】 特になし

【科目コード：IT018】

科目	キャリアデザイン I	科目区分	一般教養
履修時間	51時間	授業形態	講義
開講学期	前期	対象学年	2年
担当講師	高橋 由美子	単位数	3単位

【授業のねらい】

自己理解を通して自分の強み・弱みを発見し、仕事理解をすることで職業についての理解を深め、自分の「やりたい仕事」を具現化する。また、自己 PR ができる履歴書やエントリーシートの書き方を学び、就職活動に自ら積極的に取り組もうとする姿勢を培う。

【授業の展開計画】

第1回	ジョブカードの必要性
第2回～第3回	「あなたにとって働くとは」の作文
第4回～第5回	ジョブカード（様式1-2）キャリア・プランシートの作成
第6回	キャリア・プラン作成補助シートの活用
第7回	キャリア面談（2年次に年3回実施）1回目（5月）
第8回	仕事理解（職種・業界研究）
第9回	応募書類の作成 エントリーシートの書き方・履歴書の書き方
第10回	応募書類のチェックと修正等
第11回	面接対策（1） マナーの復習（インターンシップ前の準備にも対応）
第12回	質問想定事例集
第14回	面接対策（2） 入退室のマナー
第15回～第16回	模擬面接の準備
第17回	学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

提出物①：「あなたにとって働くとは」の作文

【テキスト】

オリジナルテキスト

【参考文献・その他】

キャリア・プラン作成補助シート
ジョブカード（様式1-2）キャリア・プランシート
ハローワーク 応募書類の作り方
ワークガイダンス講習（第一・二分冊）

【科目コード：IT019】

科目	ポートフォリオ I	科目区分	専門
履修時間	68時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	2年
担当講師	末續河南衣	単位数	2単位

【授業のねらい】

- ① ポートフォリオの重要性をしっかりと理解することができる。
- ② 1年生の学びを活かし、自分なりのオリジナル作品の重要性、大切さを知ることができる。

【授業の展開計画】

第1回

- ① ポートフォリオ制作・ニーズを発見する事の重要性について
- ② 1年時のデータ整理③2022年（数字）をテーマにした作品づくり

第2回

- ① 企業が模索するアートとデザインについて
- ② 2022年（数字）をテーマにした作品づくり（静止画と動画）

第3回

- ① ポートフォリオ制作・ニーズを発見する事の重要性について
- ② 2022年（数字）をテーマにした作品づくり（静止画と動画）

第4回～第6回

- ① ポートフォリオ制作・ニーズを発見する事の重要性について
- ② シェイプをテーマにした作品づくり（静止画と動画）

第7回～第9回

- ① ABC アニメーションをテーマにした作品づくり（静止画と動画）
- ② デザイン思考（なぜデザイン思考なのか・デザイン思考をやる・やる）
- ③ デジタルイラスト（基礎・初期ツール・キャンパスの作成と解像度）

第10回～第14回

- ① インフォグラフィック作品づくり（シリコンバレーで活躍するスーパー4人から）
- ② デザイン思考（デザイン思考をやる・やる・デザイン思考の今と未来）
- ③ デジタルイラスト（ペンツール、消しゴムツール・レイヤー基礎知識・応用・拡張子と保存）

第15回～第16回

- ① インフォグラフィック作品づくり（仮題 世界・日本のIT企業について）
- ② アート思考

第17回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

「自分だけの答え」が見つかる13歳からのアート思考

【参考文献・その他】

【科目コード：IT020】

科目	Web 制作応用	科目区分	専門
履修時間	51 時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	2 年
担当講師	長田 一	単位数	1 単位

【授業のねらい】

1 年次に学んだことをベースに、より実践を意識した制作に取り組みます。

【授業の展開計画】

第 1 回～第 2 回

SCSS 等を使用したウェブページ制作応用

第 3 回～第 5 回

CSS アニメーションや JavaScript を駆使した動的ページの制作

第 6 回～第 7 回

ウェブ制作～公開までのワークフローの理解・実践

第 8 回～第 10 回

PHP を使用したサーバサイドプログラムの基礎、実践

第 11 回～第 14 回

WordPress を使用したウェブサイトの構築基礎

第 15 回～第 16 回

成果物発表

第 17 回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40 点満点) と試験点数 (60 点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

ちばんやさしい PHP の教本 第 3 版 PHP 8 対応 人気講師が教える実践 Web プログラミング

【参考文献・その他】

ちばんやさしい WordPress の教本 第 5 版 5.x 対応 人気講師が教える本格 Web サイトの作り方

【科目コード：IT021】

科目	ネットマーケティング	科目区分	専門
履修時間	34時間	授業形態	講義
開講学期	前期	対象学年	2年
担当講師	栗国 朝也	単位数	2単位

【授業のねらい】

インターネットマーケティングに関する、知識・手法・理論を学習する

【授業の展開計画】

第1回～第2回

インターネットマーケティングにおける基礎理論

第3回

インターネットマーケティングの個別手法

第4回～第5回

インターネットリサーチ・プロモーション

第6回

インターネット広告

第7回

インターネットを利用した販売

第8回～第9回

効果測定・外注管理

第10回

各種ポリシー

第11回～第12回

関連法規

第13回

インターネットとコンプライアンス、CSR

第14回

インターネット技術論

第15回～第16回

過去問題演習

第17回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

ネットマーケティング検定 公式テキスト

【参考文献・その他】

【科目コード：IT022】

科目	AI 開発 I	科目区分	専門
履修時間	51 時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	2 年
担当講師	長田 一	単位数	1 単位

【授業のねらい】

機械学習で使用されるプログラミング言語 Python の基礎を学びます。

【授業の展開計画】

第 1 回～第 2 回

Python を学ぶ準備をしよう
コマンドプロンプトに慣れよう
第 3 回～第 5 回

基礎を学びながらプログラムを作成しよう
繰り返しと条件分岐を学ぼう

第 6 回～第 8 回

辞書とファイルの扱いを学ぼう
会話 bot を作ろう

第 9 回～第 11 回

ライブラリを使いこなそう
サードパーティ製パッケージを使いこなそう

第 12 回～第 16 回

Web アプリケーションを作成しよう
さらに知識を身に付けるための学び方

第 17 回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

いちばんやさしい Python の教本 第 2 版 人気講師が教える基礎からサーバサイド開発まで

【参考文献・その他】

【科目コード：IT023】

科目	Web アプリ開発 I	科目区分	専門
履修時間	51 時間	授業形態	実習
開講学期	前期	対象学年	2 年
担当講師	長田 一	単位数	1 単位

【授業のねらい】

1 年次に学んだ JavaScript をより高度に理解するために、Web アプリケーションの開発に取り組みます。成果物は卒業研究としてポートフォリオに加えられるようにします。

【授業の展開計画】

第 1 回～第 2 回
ブレインストーミング、方針確認、チーム編成

第 3 回～第 1 4 回
開発

第 1 5 回～第 1 6 回
成果物発表

第 1 7 回
学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

プリント配布

【参考文献・その他】

【科目コード：IT024】

科目	基本情報処理技術者Ⅱ	科目区分	専門
履修時間	68時間	授業形態	演習
開講学期	前期	対象学年	2年
担当講師	翁長 武浩	単位数	2単位
実務経験	ソフトウェア エンジニア		

【授業のねらい】

国家資格の IT 技術者の基本知識を学ぶ
試験対策の基礎知識の OUTPUT 学習を重点的に学ぶ

【授業の展開計画】

- 第1回 模擬テスト1
- 第2回 コンピュータ構成要素
- 第3回 システム構成要素・ソフトウェア
- 第4回 基数記数法・数学的手法・その他理論
- 第5回 マルチメディア・データベース
- 第6回 ネットワーク
- 第7回 情報セキュリティ
- 第8回 アルゴリズム・オブジェクト指向・プログラミング
- 第9回 システム開発
- 第10回 企業・経営ツール
- 第11回 財務と会計・法務・ソリューションビジネス
- 第12回 プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント・ファシリティマネジメント
- 第13回 模擬テスト2
- 第14回 模擬テスト3
- 第15回 模擬テスト4
- 第16回 模擬テスト5
- 第17回 学期末テスト（前期）

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

令和04年【上期】基本情報技術者 パーフェクトラーニング過去問題集

【参考文献・その他】

【科目コード：IT025】

科目	Java I	科目区分	専門基礎
履修時間	34時間	授業形態	演習
開講学期	前期	対象学年	2年
担当講師	臼坂忠雄	単位数	3単位
実務経験	IT 企業勤務経験		

【授業のねらい】

中、大企業などの、業務システム開発言語として、成功している、Java 言語、JavaWeb の基本を学ぶ

【授業の展開計画】

- 第1回 Java の基本、書き方
- 第2回 型のいろいろ
- 第3回 配列とコレクション
- 第4回 ストリーム処理
- 第5回 例外処理
- 第6回 ファイル操作
- 第7回 日付処理
- 第8回 オブジェクト指向
- 第9回 マルチスレッド
- 第10回 デザインパターン
- 第11回 ライブラリー
- 第12回 Java の Web 環境、インストール (Tomcat)
- 第13回 サーブレット
- 第14回 JSP
- 第15回 JavaBean
- 第16回 データベース接続
- 第17回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40点満点) と試験点数 (60点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Java 本格入門、 基礎からのサーブレット/JSP

【参考文献・その他】

特になし

【科目コード：IT026】

科目	プレゼンテーション演習	科目区分	専門基礎
履修時間	51時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	2年
担当講師	高橋 由美子	単位数	1単位

【授業のねらい】

PowerPoint の基本操作や機能を学習し、効果的なプレゼンテーション手法についての知識とスキルを習得する。また、卒業研究の発表会に向けて、発表スライドの作成と魅せる、伝えるプレゼンテーションを実践する。

【授業の展開計画】

第1回	PowerPoint の概要と基礎知識
第2回～第3回	基本的なプレゼンテーションの作成
第4回	効果的なオブジェクトの作成と編集
第5回	特殊効果の設定
第6回	魅せるプレゼンテーション技法 (1)
第7回	魅せるプレゼンテーション技法 (2)
第8回～第10回	卒業研究発表スライドの作成
第11回～第12回	伝えるプレゼンテーション演習
第13回	卒業研究発表の振り返り
第14回～第15回	PowerPoint でやってみよう 自己紹介の作成・チラシ作成
第16回	動画作成
第17回	学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点 (40点満点) と試験点数 (60点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

提出物①：卒業研究発表スライド

提出物②：自己紹介スライド

提出物③：チラシ

提出物④：動画

【テキスト】

よくわかる Microsoft PowerPoint 2019 基礎

【参考文献・その他】

無し

【科目コード：IT027】

科目	キャリアデザインⅡ	科目区分	一般教養
履修時間	51時間	授業形態	講義
開講学期	後期	対象学年	2年
担当講師	高橋 由美子	単位数	3単位

【授業のねらい】

就職活動の面接試験において、的確に自己アピールできているかを再確認する。そのうえで得意・苦手を把握し、効率的に面接対策が進められるよう面接力アップを図る。また、卒業後、ビジネスパーソンの一員として主体的に行動していく意欲を身につける。

【授業の展開計画】

第1回	キャリア面談（2年次に年3回実施）2回目（10月） 入退室マナーの練習（個人）
第2回	模擬面接の練習
第3回	ロールプレイ（ペアワーク）
第4回	オンライン面接対策
第5回	ビジネスメール
第6回	ビジネス文書
第7回	キャリア面談（2年次に年3回実施）3回目（1月） 模擬面接の練習（個人）
第8回	応募書類のチェックと修正等
第9回	新社会人としての心構え
第10回～第13回	社会生活への準備
第14回～第16回	就職活動フォロー面談
第17回	学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

オリジナルテキスト

【参考文献・その他】

ワークガイダンス講習（第一・二分冊）

【科目コード：IT028】

科目	ポートフォリオⅡ	科目区分	専門
履修時間	68時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	2年
担当講師	末續河南衣	単位数	2単位

【授業のねらい】

- ① 意欲的に作品作りに取り組むことができる。
- ② 作品の目的や意図を明確に持っていることをアピールできる。
- ③ ニーズを理解したデザインの力、活かし方を表現することができる。(デザイン思考/アート思考)

【授業の展開計画】

第1回

- ① インフォグラフィック作品づくり (仮題 世界・日本の IT 企業について)

- ② アート思考

第2回～第3回

- ① 伝わる図解デザインについて

- ② アート思考

第4回～第5回

- ① 図解デザイン資料作品づくり

- ② アート思考

第6回～第7回

- ① 図解デザイン資料作品づくり

第8回～第11回

- ① 図解を使った作品づくり (静止画と動画)

第12回～第15回

- ① 自分でテーマを考えた作品づくり (静止画と動画)

第16回

- ① 1年間の授業まとめと振り返り

第17回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40点満点) と試験点数 (60点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

実践 スタンフォード式 デザイン思考 世界一クリエイティブな問題解決

【参考文献・その他】

【科目コード：IT029】

科目	知的財産管理	科目区分	一般教養
履修時間	34時間	授業形態	講義
開講学期	後期	対象学年	2年
担当講師	栗国 朝也	単位数	2単位

【授業のねらい】

学生・社会人問わず必要となる知的財産管理の、初歩的な知識・技能を学習し日常生活・業務において知的財産に関する対応の基礎をみにつける

【授業の展開計画】

- 第1回 知的財産とは
- 第2回 特許法の目的と保護対象
- 第3回 特許要件
- 第4回 特許出願後の手続き
- 第5回 特許権の管理と活用・特許権の侵害と救済
- 第6回 実用新案法・意匠法の保護対象と登録要件
- 第7回 意匠登録を受けるための手続き
- 第8回 意匠権の管理と活用・意匠権の侵害と救済
- 第9回 商標法の保護対象と登録要件・商標登録を受けるための手続き
- 第10回 商標権の管理と活用・商標権の侵害と救済
- 第11回 条約
- 第12回 著作権法の目的と著作物・著作者・著作者人格権
- 第13回 著作（財産）権・著作権の制限・著作隣接権
- 第14回 著作権の侵害と救済・不正競争防止法
- 第15回 民法・独占禁止法
- 第16回 種苗法・弁理士法
- 第17回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

知的財産管理技能検定3級公式テキスト[改訂12版]

【参考文献・その他】

【科目コード：IT030】

科目	AI 開発 II	科目区分	専門
履修時間	51 時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	2 年
担当講師	長田 一	単位数	1 単位

【授業のねらい】

機械学習の基礎を生び、サンプルコードを使いモデルを生成し、実際に文字認識などを行います。

【授業の展開計画】

第 1 回～第 2 回

機械学習について知ろう
環境を準備しよう

第 3 回～第 10 回

スクレイピングでデータ収集をしよう
日本語の文章生成をしよう
手書き文字認識をしよう

第 11 回～第 13 回

データの前処理を学ぼう

第 14 回～第 15 回

回帰分析をしよう

第 16 回

機械学習の次のステップ

第 17 回

学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

いちばんやさしい Python 機械学習の教本 人気講師が教える業務で役立つ実践ノウハウ

【参考文献・その他】

【科目コード：IT031】

科目	Web アプリ開発Ⅱ	科目区分	専門
履修時間	51 時間	授業形態	実習
開講学期	後期	対象学年	2 年
担当講師	長田 一	単位数	1 単位

【授業のねらい】

成果物のブラッシュアップと、これまで学習してきたスキルを生かした自由制作を行いポートフォリオを充実させます。

【授業の展開計画】

第 1 回～第 2 回
ブレインストーミング、方針確認、チーム編成

第 3 回～第 1 4 回
開発

第 1 5 回～第 1 6 回
成果物発表

第 1 7 回
学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

プリント配布

【参考文献・その他】

【科目コード：IT032】

科目	A I と B I	科目区分	専門
履修時間	34時間	授業形態	講義
開講学期	後期	対象学年	2年
担当講師	翁長 武浩	単位数	2単位
実務経験	ソフトウェア エンジニア		

【授業のねらい】

AI と BI が社会にもたらす変化とインパクトについて学習する。

【授業の展開計画】

- 第1回 第1次 AI ブームと第2次 AI ブーム
- 第2回 第1次・第2次 AI ブームであきらかになった課題
- 第3回 第3次 AI ブームのブレイクスルー
- 第4回 AI に残された課題
- 第5回 AI の強み／弱み
- 第6回 AI は人間の仕事を奪うか
- 第7回 感情労働という仕事…情緒と身体性
- 第8回 汎用性 AI 実現に向けた社会的課題
- 第9回 BI の仕組みとメリット
- 第10回 BI の思想的メリット
- 第11回 BI の制度的懸念点
- 第12回 BI 導入の障壁
- 第13回 BI の導入事例
- 第14回 民主主義・資本主義と BI
- 第15回 AI と BI が労働と経済にもたらすインパクト
- 第16回 AI+BI の世の中で豊かに生きるための条件
- 第17回 学期末テスト（後期）

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

A I と B I はいかに人間を変えるのか

【参考文献・その他】

【科目コード：IT033】

科目	IOT	科目区分	専門
履修時間	34時間	授業形態	講義
開講学期	後期	対象学年	2年
担当講師	翁長 武浩	単位数	2単位
実務経験	ソフトウェア エンジニア		

【授業のねらい】

IoTに関する基礎知識を学習する。

【授業の展開計画】

- 第1回 IoT の概要
- 第2回 クラウドコンピューティングとは
- 第3回 IoT システムのビジネス展開
- 第4回 IoT システムの全体像
- 第5回 第4次産業革命とは
- 第6回 シェアリングエコノミーとは
- 第7回 IoT デバイス概要
- 第8回 MEMS とは
- 第9回 IoT 応用システムとは
- 第10回 産業用ロボットとは
- 第11回 ドローンの現状
- 第12回 スマートデバイスとは
- 第13回 IoT 通信方式の概要
- 第14回 省エネ通信方式とは
- 第15回 IoT でデータを活用
- 第16回 IoT セキュリティ対策の概要
- 第17回 学期末テスト（後期）

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

IoT 技術テキスト 基礎編 第2版

【参考文献・その他】

【科目コード：IT034】

科目	Java II	科目区分	専門基礎
履修時間	34時間	授業形態	演習
開講学期	後期	対象学年	2年
担当講師	臼坂忠雄	単位数	3単位
実務経験	IT 企業勤務経験		

【授業のねらい】

中、大企業などの、業務システム開発として、成功している、分散型 JavaWeb システムの仕様を学ぶ

【授業の展開計画】

- 第1回 Java Web MVC の仕組み
- 第2回 掲示板システム開発1
- 第3回 掲示板システム開発2
- 第4回 掲示板システム開発3
- 第5回 掲示板テスト
- 第6回 Jakarta EE とは、インストール (NetBeans / Payara Server)
- 第7回 JSF の仕組み
- 第8回 JSF 入力 / 出力
- 第9回 JSF ボタン、リンク、テーブル
- 第10回 JSF コンバータ、バリデータ
- 第11回 CDI の使い方
- 第12回 データベースと EJB
- 第13回 ORM マッピング
- 第14回 JPQL
- 第15回 セキュリティ
- 第16回 雑貨屋さん Web システムの内容
- 第17回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40点満点) と試験点数 (60点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

基礎からのサーブレット/JSP、 わかりやすい Jakarta EE ウェブシステム入門

【参考文献・その他】

特になし